

学科 学年	E2	科目 分類	数学A Mathematics A	講義 必修	H23前期 2単位	学習教育 目標 2	担当	佐藤志保 SATO SHIHO
概要	関数として記述された様々な現象を理解、解析するための手段として、微分積分に関する講義を行う。							
科目目標 (到達目標)	関数の極限の計算ができるようになる。関数の導関数が計算できる。関数の導関数の符号を調べて、関数の増減を調べることができる。関数の最大・最少問題を応用することができる。							
教科書 器材等	微分積分、新訂微分積分 問題集(大日本図書) 新版高専の数学2 問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	定期試験(70%)、各種課題(15%)、基礎学力試験(15%)							
関連科目	1年の数学							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		関数の極限 1						
第2回		関数の極限 2						
第3回		関数の連続性						
第4回		中間値の定理・最大値の定理						
第5回		微分係数						
第6回		導関数						
第7回		導関数の公式 1						
第8回		導関数の公式 2						
第9回		合成関数の導関数 1						
第10回		合成関数の導関数 2						
第11回		三角関数の導関数 1						
第12回		三角関数の導関数 2						
第13回		逆三角関数						
第14回		逆三角関数の導関数						
第15回	×	前期末試験						
第16回		指数関数・対数関数の導関数 1						
第17回		指数関数・対数関数の導関数 2						
第18回		平均値の定理 1						
第19回		平均値の定理 2						
第20回		関数の増減と極値 1						
第21回		関数の増減と極値 2						
第22回		関数の最大・最少 1						
第23回		関数の最大・最少 2						
第24回		接線と法線						
第25回		不定形の極限 1						
第26回		不定形の極限 2						
第27回		高次導関数						
第28回		曲線の凹凸 1						
第29回		曲線の凹凸 2						
第30回	×	前期末試験						
オフィス アワー	火曜 木曜 の放課後 5 : 0 0 まで							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	20110326 新規							